

## 感染症情報 9月24日～30日

府下小児科200医療機関(堺市19)から

|            |         |      |
|------------|---------|------|
| ①感染性胃腸炎    | 572例(堺市 | 21例) |
| ②RSウイルス感染症 | 504例(堺市 | 39例) |
| ③溶連菌感染症    | 304例(堺市 | 45例) |
| ④ヘルパンギーナ   | 179例(堺市 | 14例) |
| ⑤手足口病      | 142例(堺市 | 11例) |

府下インフルエンザ定点306医療機関(堺市29)から

|         |        |     |
|---------|--------|-----|
| インフルエンザ | 45例(堺市 | 0例) |
|---------|--------|-----|

が報告された。

感染症報告数は前週比5.8%減の1,973件であった。

報告の第1位は再び感染性胃腸炎となり、以下RSウイルス感染症、溶連菌感染症、ヘルパンギーナ、手足口病の順であった。

感染性胃腸炎は府下で前週より2%減、堺市では前週より13%減であった。RSウイルス感染症は府下で前週より16%減、堺市で57例→39例は32%減であった。溶連菌感染症は府下で前週より14%増、堺市では前週52例→45例は13%減であった。ヘルパンギーナは府下で前週より11%減、堺市で18例→14例であった。手足口病は府下で前週より10%減、堺市では前週8例→今回11例であった。

インフルエンザが府下で前週40例、今回は45例であった。堺市では前週も今回とも0例であった。

麻疹の報告はなかったが、風疹が3例あった(堺市では0例)。